

IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ
RI.D2590ガバナー／志村 雄治
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

2023年2月15日 第2495回例会 VOL.54 No.28

- 司会 SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会長 安藤 公一
- 出席報告

会員数	18名	本日の出席数	11名
本日の出席率	68.75%	修正出席率	88.89%

■オンライン出席

佐藤（真）

■本日の欠席者

新川、宋、福村、平子、二宮

■他クラブ出席者

新川（地区）

■ゲスト

加藤明彦様（旭みらい塾、会社顧問）

■会長報告

まずは連日報道されている9日前に発生したトルコ南東部・シリア北西部にまたがる地域でのマグニチュード7.5を越える2回の大地震です。1995年の阪神淡路大震災の22倍ものエネルギーという超巨大地震だったようです。既に死者は41,000名を越え、今後被害の詳細が明らかになるにつれ被害者の数も更に増えることが予想されます。被災された方々へ心よりのお見舞いを申し上げるとともに一人でも多くの方の救済が行われることを願って止みません。できる限りの支援をしていきたいと会員の皆さんも思っておられると思います。

先週金曜日の雷は、午後3時頃から雨に変わり横浜地方には大きな混乱を引き起こすことはありませんでした。今日明日にかけて日本列島

全般に寒波が襲来しており、冷たい強い風も吹いています。この寒波が今冬の寒さの底になってくれることを祈るばかりです。季節の変わり目の寒暖差の増大と、過去10年で最大と見積もられている杉花粉も飛散による花粉症等々、新型コロナ・インフルエンザのみならず健康管理には尚一層の注意を払っていきましょう。

スポーツでは、米国3大スポーツの中でも最大と言われているアメリカンフットボールの頂上決戦であるスーパーボールが現地時間12日に開催され、カンサスシティ・チーフスが同点の残り数秒から勝ち越しのフィールドゴールを決めて勝利という接戦をものにしました。

開催まで3週間となったWBCのニュースは毎日報道されていますが、とても楽しみです。侍ジャパンの活躍に大いに期待したいところです。

今日は旭ガイドボランティアの会から加藤様にお出で頂き卓話を頂きます。とても楽しみです。

▷地区関係

1) 来年度(2023-24年度)の地区研修・協賛会の案内がきましたので回覧します。今回は冊子配布と動画配信という形で行われ、配信期間は4月10日～6月一杯です。

2) 本年度の国際大会が5月27日から31日にメルボルンで開催されますが、その際に2590地区の会食会「地区ナイト」が28日に開催されるという案内がきましたので、回覧します。

3) 2023-24 年度地区補助金プロジェクト募集の案内が参りました。申請期限は 2 月 28 日です。各奉仕活動のリーダーはこれを有効活用できないかお考え頂きたく存じます。

4) 地区より入会 3 年未満会員対象の交流会が 3/24(金) 17 時よりインターコンチネンタルホテルで開催するとの案内がきました。該当する会員の方はご参加ください。

5) ローターアクト関東ブロック研修会(4/29-30)の案内が届きましたので、回覧致します。

6) 横浜あざみ RC より、例会のご案内が参りました。

▷クラブ関係

7) 新川幹事は地区のポリオ撲滅委員長としてパキスタンを訪問し、奉仕活動をされていて本日午後 3 時半に帰国予定と聞いています。新川さんから送られてきた写真を回覧致します。



8) グローバル財団奨学生に応募された藤田葉月さんの面接をロータリー財団委員長の増田さんと私が本日例会終了後に行います。

9) 2/16 付タウンニュースにチャリティーコンサートの記事が 1 面に掲載されました。

■友 2023 年 2 月号紹介 市川 慎二
表紙/多才な障がい者アートが表紙になっており金棒ロケットになっています。最近の表紙は見開きにしてみると、何かがわかるデザインになっていますので、毎月楽しんでください。

▷横組

6P / 2 月 23 日はロータリーの創始者ポール・ハリスが 3 人の友人と初めて会合を開き、シカゴロータリークラブが誕生しました。

記念日に合わせて、今一度、ロータリーの誕生や目的など、振り返ってみてください。

8P / 2 月は、ロータリーの平和と紛争予防月間です。それを踏まえた内容で「1 枚の写真を前に、人々は何を感じ考えるか」をテーマに写真記者である千葉康由氏が、写真家を目指すまでのことから、報道写真家の取材の危険度、道徳的なジレンマなど、自分の思う人間としての在り方や、道徳的価値について考えさせられ

る内容でした。写真家としての信念や思いを語られています。

20P / ジュニア・ジョーンズ RI 会長が来賓のもと、大阪ロータリークラブ創立 100 周年式典の記事。

27P / ガバナーのロータリー・モメントで印象に残ったのが「災害時における会員奮闘に接して」新潟ロータリークラブの記事ですが、昨年の 8 月の大雨で甚大な被害を受け、復旧・復興にはまだ時間がかかるようですが、災害発生時には、最も被害が大きかった地域の 2 つのロータリークラブは、すぐさま被災者支援活動を開始した。また、元ロータリアンも支援テントへ急行してくれたとのことでした。

35P / 地区大会の略報として、第 2590 地区の様子。

40P / RI 会長エレクトより次年度の会長テーマ「世界に希望を生み出そう」の発表についての内容、ロータリークラブの統計、野生型ポリオウイルス症例数、国などが載っております。

▷縦組み

4P / セブン銀行特別顧問・東洋大学理事長安齋隆氏の記事が掲載されています。「人との出会他者のために生きる」人生における人との出会いには「宿命的なものと、自分の選択で出会うもの」の 2 つがあると思う中で、人との出会いの大切さや、人のため、他者のためになるかどうかといった内容です。

■ニコニコ BOX

安藤 公一/加藤明彦様、本日の卓話宜しくお願ひいたします。

内田 敏/加藤明彦様、本日はよろしくお願ひ致します。

関口 友宏/加藤明彦様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

市川 慎二/加藤明彦様、卓話宜しくお願ひ致します。

岡田 隆/加藤様、本日の卓話楽しみにしています。

北澤 正浩/加藤様、本日はようこそお越しくださいました。卓話よろしくお願ひいたします。

五十嵐 正/加藤様、本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしております。

中谷 逸希/①加藤明彦様、卓話よろしくお願ひいたします。②個人的なことですがランドクルーザーがやっと納車されました。

関口 大樹/加藤様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

■卓話／旭区生涯学習アドバイザー加藤明彦様
(ご紹介)

昭和22年の愛知県のお生まれで、昭和45年に日本銀行に入行され帯広支店勤務時から「帯広観光大使」を30年以上も務められる。平成7年に岐阜信用金庫理事に就任され、その後2010年にぎふしん信用保証(株)監査役をお勤めになられる。

2014年に中古車オークション最大手の株式会社ユー・エス・エスの社外取締役を昨年まで長年お勤めになられました。

35年前から万騎が原にお住まいで、それ以来地名の由来や重忠について調べられたりと研究を続けてこられ、数年前から「あさひガイドボランティア」を始められておられ、昨年春から各所で歴史講座を重ねられておられます。

昨年11月のタウンニュースにも紹介記事が載っています。

▷横浜の怪物「高島嘉右衛門」

近代横浜の礎を造った民間人

—鉄道・瓦斯・学校・水道・旅館

—神奈川築堤～「高島町」へ

・高島嘉右衛門(1832～1914)は、江戸に生まれた。だが、活動の舞台や業績からして横浜の怪物と言ってよい。

・安政6年、肥前屋小介名義で陶器・白蠟の販売店を開いたのが横浜での第一歩。

・以後、牢名主・易学研究者・旅館主・埋立請負者、ガス会社設立・洋学校創立者、など多彩な経歴を横浜に残す。

①1859(安政6)年鍋島藩特産の陶器店(肥前屋)を、本町に開店。

②1860(万延元)年、金貨密売の罪で1865年迄入獄。

③出獄後、嘉右衛門と名乗り、横浜にて事業再開。旅館・水道・ガス・築堤・学校創立等。

・別荘の規模が成功ぶりを示す。

▷易を牢中に学ぶ(嘉右衛門自伝より)

・或る日、牢の一隅なる隠居畳を掃除しける折、偶然にも易の坤本 こんぼん八卦一冊を古畳の間より得たり、書類厳禁の牢内に此の書冊あるは、恐らく曾て入牢せし水戸浪士の隠しおける物なるべく、今この書を得たるは萬金を得たるにも優れりと、且つ驚き且つ喜べり。

・之より昼夜、眼を斯書にさらし、4か月にして二万余字を暗唱するに至りたり。

・然れども我が身を見れば牢死熱に犯され、肉落ち骨出でて頸髪脱出して面色土の如く、中略、

此の上は生死存亡の運命を神明に質すの外なかるべしと、紙こより50本を作りて筮竹に代え、至誠を籠めて占えるに・・・



・占いの結果→「今や運氣混沌として、百難身に纏いて、自由に行動すること能わずと雖も、遂には世に出て志を遂げ、十年にしてその望みを達すべし、」

・余、この易占を得て且つ喜び且つ驚き、是より易を信ずること益々深く、肝に銘じて復離ることなきに至れり。

▷鉄道建設あゆみ(日本国有鉄道百年史より)

1、明治2年11月 廟議 決定

東西両京を結ぶ幹線、東・横線その他を支線とし建設。

2、明治3年3月 東横線・測量開始 工事着手

上野監督正、E・モレル建築師長3名の外人副役野毛町の元修文館に、横浜出張所開設

3、用地取得

①青木町～石崎・神奈川築堤→高島嘉右衛門請負(90,135円≒18億円)

②石崎～横浜停車場→内田清七から買い上げ(31,034両≒15億円)

③横浜停車場周辺→県が埋め立て(70,133両≒35億円)

4、開業

①明治5年5月7日～品川・横浜間。単線。最初は2往復/日。

②明治5年7月12日～明治天皇、横浜発18時8分発で品川迄乗車。

③明治5年9月12日～新橋・横浜間開通。

▷高島の鉄道建設構想「汐留・品川・桜木町駅百年史」(東京南鉄道管理局)より

・明治2年頃、官員用の旅館「高嶋屋」開業。ウナギかば焼き、刺身を名物とし大当たり。

ここで大隈重信、伊藤博文と知り合う。

・鉄道経営を思いつき、当時、20番ホテル滞在中のリードから100万ドルの借入約束を取り付け。大蔵省に出向き、大隈に東京～横浜間の鉄道建設免許を願い出た。

・大隈は、金はあるか、と尋ねた。高島はリードの借り入れの話をして仮契約書のようなものを見せた。

・大隈は「君は立派な人物と思っていたが、ヨーロッパの山師に騙されるようでは駄目だ」と、借り入れ契約は信用できないと云った。

・ところが、大隈、伊藤の二人は、内心びっくりして、高島が帰るとすぐ馬車で横浜に行き、リードに会って「あなたは高島に100万ドル貸すそうだが、京浜間の鉄道は日本政府が造る手筈になっている。」として、改めて300万ドルの仮契約をした。つまり2人は高島を騙して、出し抜いたのである。

・高島は、それを知って、「日本に鉄道は必要だ。建設の出願はしたが、政府が造るなら個人の私が造るより結構なことだ。」と怒りもせず諦めたという。

・しかし人間として、しかも政府の人間として、個人・高島を出し抜いた大隈は後味が悪かった。そこで廟議で建設が決まると、高島に「君は鉄道の必要を教えてください、又建設の出願をした関係もあるので、共同で経営したい。」という意向を上野景範（政府役人、運上所掛等）に伝えさせ、協議させようとした。

・上野からこれを聞いた高島は、権力ある政府に資金が出来たとすれば鬼に金棒である。その権力者と共同事業を起せば、世間様が「高島は大隈の好意に甘えた。」というに決まっていると思い、「折角だが資力のない私には政府と共同などは・・・」と断った。

なお、上野が「大隈公のご厚意ですから」と言うので、「では横浜・神奈川間の埋め立てをさせて頂きましょう。」と答え、上野を帰らせた。

・こうして高島は埋立をやることになったが、大隈はこの話を聞いて高島の男らしさに感心し、高島の男としての名誉を傷つけないよう、埋め立工事は競争入札でやることとした。

・明治3年5月26日、野毛浦埋立地の端から神奈川青木町海岸まで770間（1,400 m）、幅35間（64 m）の埋め立て工事の競争入札を公告した。応札者は高島唯一人であった。

・それはそうである。これだけの工事が出来る者は他に居なかった。そして高島の男も立ったのである。

・埋め立て工事～嘉右衛門は、住民の投石などの被害に遭ったが、明治4年2月竣工。

晴天140日の条件通り出来なければ、1日につき埋立地を幅5間（9 m）、長さ60間（109 m）の割で賠償という厳しい条件であったが、嘉右衛門はやり遂げた。

・鉄道と国道用地を献上し、残りは自分の所有となり、広大な埋め立て地は「高島町」と名付けられた。

右側中央の「停車場」が、初代横浜駅 (明治14年(1881年)発行の地図)



▷高島・鉄道事業着眼の第一の動機

・一日、米国建築技師ビダン氏の下を訪う。2名の米国婦人と一名のフランス婦人が会話している。

・通訳に聞いたところ、「もし外国と日本と、一旦、事ある時は、越前敦賀より尾張の内海に繋がる30里の間を中断すれば、両断された蛇の如く如何とも為し能わざるべし」とて笑い興じるところなり。

・これを聞き、自分高島は、「彼の国の男子らが、常に日本の噂をなせるを聞き伝え、彼等夫人に至るまで斯くは口ずさむものなるべし。」と覚えず戦慄したり。

・今や東洋方面に遠征を試みつつある欧州各国は、インド、支那の如き国土の広大なるところに希望を属せりと雖も、一朝、野心を日本に轉ずるときは、我が国恰も中風患者が付添人に離れたるが如けむ。

・事、茲に至らば、上は宸襟^{しんきん}・天子の心を悩まし奉り、拳国の人民如何に切齒扼腕すとも、海陸交通の遅速に抗し難く、国防の事、亦、如何ともする能わざるべし。

・若し国内に鉄道を貫通せしめ、首尾の連絡を全うする時は、鹿児島・宗谷岬間は3日間を以て交通運輸の目的を達すべければ、八百里の行程は正しく三十五里に短縮されたと同一の結果に帰着すべし。

・是、国の根本を確立する所以にして、国家の禍を未然に防止する一大急務也。加之、封建の治久しきに俎^それ、三千五百万の国民は挙って腰抜けとなれり。

・是を鞭撻し、外に対し護国の大義を覚らしむるには、先ず鉄道を敷設するより急務なるはなし。

是、余が鉄道事業に着眼せる根本の動因なり。

■次週卓話

3 / 1 災害復興支援フォーラム